

農産 F A X 情報 第 1 号

令和 6 年 5 月 1 5 日
ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 秋まき小麦

○止葉期の追肥

- ・ 平年の止葉期は 5 月 2 6 日ですが、本年は幼穂形成期が平年より 6 日早いため、止葉期が早まることが予想されます。
- ・ 生育状況・気象予報を確認し、追肥を行いましょう。

表 1 止葉期の追肥例

窒素成分の施肥量	施肥時期	単肥の施肥量
4 kg/ 1 0 a	5 月下旬ごろ	尿素：約 1 0 kg/ 1 0 a 硫安：約 2 0 kg/ 1 0 a

○赤さび病の防除

- ・ 本病は 5 ～ 6 月の高温多照により多発しやすいです。気象経過に注意し、必要に応じて防除を行いましょう。
- ・ 止葉期に 1 回、開花始めに 1 回（赤かび病との同時防除が可能）の薬剤散布により発生が抑えられます。

表 2 赤さび病の防除例

時期	対象病害	系統	薬剤名	希釈倍率	使用回数
止葉期	赤さび病 うどんこ病	SDHI	ミリオネアフロアブル	4,000倍	2回以内
開花始め	赤さび病 赤かび病	DMI	プロラインフロアブル	2,000倍	2回以内

2 てんさい

○雑草防除

- ・ 除草剤を使用する際は雑草の発生状況・気象条件に注意しましょう。
- ・ 雑草が大きくなると効果が劣る場合があります。
- ・ 高温時（25℃以上）の散布は薬害が出る恐れがあります。
- ・ 直播てんさいでは葉齢が進んでいない個体に散布することで生育が抑制されることがあります。

3 豆類

○種子消毒

- ・タネバエは未熟たい肥、作物残渣などの腐敗臭に誘因されるため、は種前のすき込みは避けましょう。

表3 種子消毒の薬剤例

薬剤名	使用量 (種子1kg当)	小豆				大豆				菜豆			
		茎疫病	褐斑細菌病	苗立枯病	タネバエ	アブラムシ類	茎疫病	斑点細菌病	苗立枯病	タネバエ	アブラムシ類	かさ枯病	苗立枯病
粉衣用 [®] ア-カミンD	3g		○	○	○		○	○	○			○	○
クルザ-MAXX	8ml	○			○	○	○		○	○	○		○

○雑草防除

- ・豆類の除草剤は使用時期が短い剤があるため、出芽や葉数を確認し、適切な防除を励行しましょう。
- ・土壌処理は土壌が乾燥している場合は効果が劣るため、散布水量を増すか、土壌水分が適度にある時に散布しましょう。

◎作物の生育状況に合わせた適期防除を実施しましょう！

◎農薬使用後は生産履歴を忘れず記録しましょう！

◎風によるドリフトに注意しましょう！